

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	都市漁村交流支援事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'02	2 まちのにぎわいづくりに結びつく産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
漁業・海業が振興し、市民の漁業や海に対する理解が深まっています。		市民の漁業や海に関わる機会を拡大するため、各種海洋レクリエーションイベントや地獲れ魚の直販会の開催を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	都市漁村交流イベント開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	12	12	12		
	実績	15	13	15		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	都市漁村交流イベント参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	400	400	400		
	実績	680	500	1,220		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
子ども環境教室や新港での直売会などを支援するとともに、神奈川県との連携による遊漁船や新たに復活した地引網を活用した漁業体験ツアー等の交流イベントを実施しました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	イベントを実施することで市民への漁業や海に対する理解が深まり、親しまれる漁業の推進や漁港施設の利用促進に寄与しています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	子ども環境教室や相模湾海遊体験等は、漁業や海に対する理解や関心を高める上で有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	体験乗船等のイベントは漁業者が主体的に行っており、子ども達への説明も経験によるものが多く説得力があり、わかりやすい説明がなされています。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	平塚市漁業協同組合が専門性を生かし、効率的かつ効果的に実施しているので、行政は支援する体制をとっています。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 海岸エリアの魅力アップの観点から、新港周辺では海や魚の魅力を充分に楽しめる滞在型のエリアとしての役割が求められています。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		海遊クルーズの実施や(有)平塚海業支援センターの活動への支援	海遊クルーズの実施や(有)平塚海業支援センターの活動への支援	海遊クルーズの実施や(有)平塚海業支援センターの活動への支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0
執行率 (%)		—	—	—

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 市民をはじめ、より多くの人に漁業や海に関わる機会を増やすため、観光も活用した地域資源を情報発信するとともに、各種海洋レクリエーションイベント等の開催を支援します。
課長コメント 観光も活用した地域資源を情報発信することで、交流人口や販路拡大を図ります。